

SS 研システム技術分科会 2012 年度第 1 回会合

「新しいシステム技術運用で実は困っていませんか・その 1」

～ SS 研会員、IS 研会員、CS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます ～

- 日時 : 2012 年 8 月 24 日(金) 分科会 13:30～17:30 (受付 13:00～) / 懇親会 17:45～19:00
- 場所 : 富士通株式会社 本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 開催趣旨

この数年で IT インフラは急激に変わり、数年前にはなかった統合認証やクラウドといった色々な新しい機能が導入され、試験的ではなく実質的なインフラとして実用的に利用され始めている。また、ハードウェア・ネットワークの高速化、無線 LAN の普及やソフトウェア技術の進歩によるファームウェアやハードウェアのソフトウェア実装などによりコンピュータ端末も様変わりしようとしている。さらに、IPv4 アドレスの現実的な枯渇問題により、IPv6 アドレスの導入、運用も本格化しはじめている。しかし、このような新しい IT インフラの導入が進むにつれ、多くの組織で運用に関する疑問・問題を抱えている状況でもある。そのためこのような新しいシステム技術の運用に対して、特に個別の細かいノウハウ的なことの情報共有が急務である。

このような背景で、本年度のシステム技術分科会ではこれらの新しい IT インフラの運用技術に着目し、それぞれの新しい技術のスペシャリストの方に実運用に焦点を当てた講演を行なって頂く。さらに、課題であるノウハウの情報共有のために、講師から会場への問いかけを多用し、対話的な形式での講演を試みる。

- プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

-敬称略-

13:00～	受付
13:30～13:40	開会あいさつ
13:40～13:50	クリッカーの使用法説明
13:50～14:40 講演 40 分 Q&A 10 分	[1] 福岡大学が認証基盤に求める要件 中国 真教 (福岡大学総合情報処理センター) 福岡大学では、全学の利用者 ID を統合的に管理する認証システムを刷新し、2012 年 5 月に「福岡大学認証基盤システム」という名称で稼働を開始した。本システムでは、利用者 ID の一元化に加え、SSO (Single Sign On) の機能を導入し、国立情報学研究所が中心となって推進する学術認証フェデレーション (学認) で利用されている Shibboleth、Sun Microsystems 社によって開発された OpenSSO から派生した OpenAM、これら 2 つを組み合わせたハイブリッド型 SSO を実現している。このような話題を交えながら、本システムの導入経緯や今後の方向性について紹介する。
14:40～15:30 講演 40 分 Q&A 10 分	[2] クラウド:完全移行のための勘所とは? 柏崎 礼生 (東京藝術大学芸術情報センター) 大学メールサービスとして SaaS を採用する例が増大していることは周知の事実となっているが、その他にも様々なパブリック・プライベート XaaS サービスの利用検討・導入が各大学で行われている。震災後においては特に障害回復手段としての XaaS サービスが脚光を浴びている。本講演では小規模大学でのパブリック SaaS の利用と仮想化基盤の導入事例を紹介しながら、クラウド移行のための勘所について紹介する。
15:30～15:50	休憩
15:50～16:40 講演 40 分 Q&A 10 分	[3] 既存ネットワーク環境への IPv6 導入のポイント 近堂 徹 (広島大学情報メディア教育研究センター) 広島大学では 2008 年 5 月から運用しているキャンパスネットワーク HINET2007 をはじめ、全学情報システムや教育用情報端末システムの IPv6 対応を進めている。本講演では、各システムにおける導入手順について説明し、その過程で生じた課題や解決方法、平行運用における注意点などについて報告する。広島大学における導入事例を通して、既存ネットワーク環境へ IPv6 を導入する際のポイントについて考える。
16:40～17:20 講演 30 分 Q&A 10 分	[4] 「情報化された組織のセキュリティマネジメント WG」報告 只木 進一 (佐賀大学総合情報基盤センター) 大学等研究教育機関の業務全般が情報化されている。このような、情報化された組織にとって、セキュリティ対策は業務を支える基盤的対策となっている。その対策向上のため、教育研究機関における ICT 部門の事業継続計画、情報漏えい対策、及びセキュリティ向上のための DNS 設定をテーマに、WG を通じて検討した結果を報告する。平成 23 年の東日本大震災における各大学の被害状況の調査結果についても報告する。
17:20～17:30	閉会あいさつ
17:30～17:45	休憩 (ニュースレター編集会議講演者/企画委員)
17:45～19:00	懇親会 (会費 ¥500) お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ アクセス

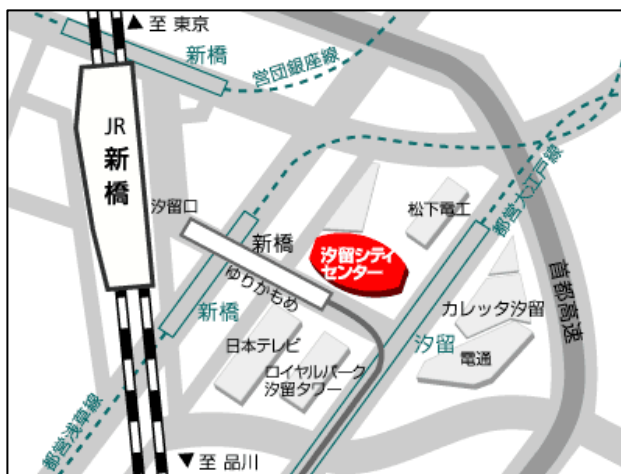
汐留シティセンタービル オフィスロビー(1階)の会合受付経路で、24階の大会議室へお越し下さい。
<http://jp.fujitsu.com/facilities/shiodome/>

＜＜電車でのアクセス＞＞

- JR 新橋駅
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- 東京メトロ 銀座線 新橋駅
出口4(地下1階)から徒歩3分
- 都営地下鉄 浅草線 新橋駅
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下2階)から徒歩1分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅
出口1Dから徒歩1分

＜＜羽田空港から新橋駅までのアクセス＞＞

- 東京モノレールとJR 山手線
羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅 (所要時間約30分)
- 京浜急行と都営浅草線 (直通電車)
羽田空港 から 都営浅草線新橋駅 (所要時間約30分)



■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研、IS 研、CS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費 : 無料です。ただし、懇親会については 会費¥500 を申し受けます。
- 定員 : 100 名(予定)
- 服装 : スーパークールビズをお勧めします。(室温 28°C)

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

富士通(株) カスタマーリレーション部内 (SS 研)

TEL : 03-6252-2582 (直通)

Email:office@sskn.gr.jp URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>